

ミットヨ川崎本社構内での環境保全対策に関する件

弊社は、昨年11月に、川崎本社構内での土壌・地下水に関わる環境調査の結果及び対策の取組み状況について報告いたしました。その後、構内土壌・地下水に関して、更なる対策の促進を検討するために、構内全域（調査実施が困難なエリアを除く）を対象として、追加調査を実施いたしましたので、下記の通りその結果と今後の対策について改めて報告いたします。

今後も川崎市のご指導の下、環境対策ならびに水質監視を継続してまいります。

記

1. 会社概要（株式会社ミットヨ）

会社所在地：川崎市高津区坂戸 1-20-1（敷地面積 20,605 m²）

主要生産品目：画像測定機、センサー機器、光学レンズなどの精密測定機器

2. 調査地点数

表層ガス調査地点：149 地点、

表層土壌調査地点：六価クロム 158 地点、鉛 170 地点

ボーリング調査地点：揮発性有機化合物(VOC)26 地点、六価クロム 4 地点、鉛 4 地点

3. 構内で基準値を超えて確認された物質

今回の追加調査で基準値を超えて確認された物質と、その物質のうちで濃度が最も高かった地点の値は以下の通りです。

	物質名	対象	基準値 (mg/L)	構内最大濃度 (mg/L)
揮発性有機化合物 (VOC)	テトラクロロエチレン	地下水	0.01	※1 170
		土壌溶出量		23
	トリクロロエチレン	地下水	0.03	※1 15
		土壌溶出量		0.64
	シス-1,2-ジクロロエチレン	地下水	0.04	※1 20
		土壌溶出量		3.6
	※2 1,1-ジクロロエチレン	地下水	0.02	0.12
	土壌溶出量	0.023		
※2 1,1,2-トリクロロエタン	地下水	0.006	0.029	
※2 ベンゼン	地下水	0.01	0.053	
重金属類	六価クロム化合物	地下水	0.05	0.41
		土壌溶出量	0.05	※3 70
		土壌含有量	250mg/kg	※3 3300mg/kg
	鉛及びその化合物	土壌含有量	150mg/kg	※4 1000mg/kg

昨年11月ご報告時との主な違い

※1 モニタリングをしていなかった敷地内部の地下水で新たに高濃度のVOCを確認しました。

※2 土壌・地下水から新たに1,1-ジクロロエチレン、1,1,2-トリクロロエタン及びベンゼンを確認しました。

※3 以前土壌溶出量低減対策を行った範囲の土壌から高濃度の六価クロムを確認しました。

※4 土壌から新たに鉛の含有を確認しました。

4. 周辺への影響について

地下水につきましては、構内地下水の敷地外への流出防止対策として 1994 年に揚水設備の設置を完了し、現在まで継続して揚水を行なって、地域住民の皆様への影響を及ぼさないよう努めてまいりました。

土壌につきましては、六価クロムが敷地外に飛散して行かないように、きれいな土で表面を覆うなどの対策を行ってきました。また、新たに確認された鉛については、確認された区画のほとんどのエリアは、アスファルトや建物などによって被覆されていますが、残りの部分についても被覆工事等を行ないます。

5. 今後の対策

(1)VOC 対策

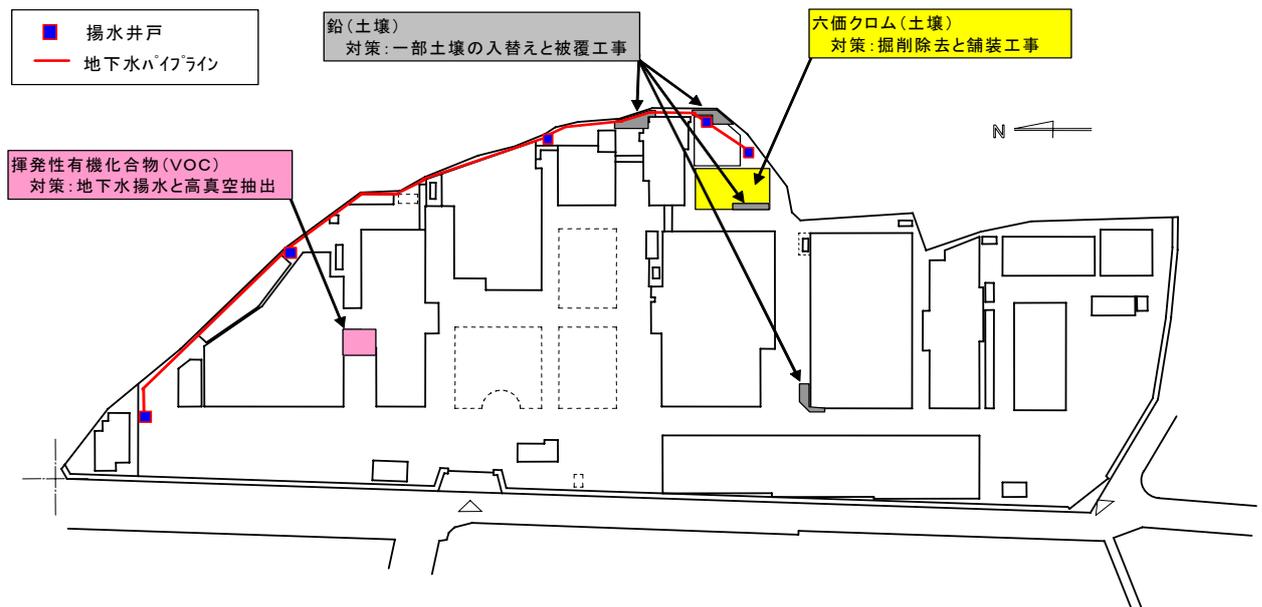
地下水につきましては、従来の揚水による対策を継続して行うとともに、今回新たに高い濃度の VOC が確認されたエリアに対し揚水設備を追加いたします。さらに土壌につきましても同じエリアに高真空抽出の浄化設備を追加し VOC 濃度の低減対策を進めます。

(2)重金属類対策（六価クロム及び鉛）

重金属類の土壌含有量・溶出量基準を超過しているエリアのうち、建屋及び舗装等のない部分について土壌の入替え工事や、舗装・被覆工事を実施いたします。工事期間中は、周辺住民の皆様に対してご迷惑がかからないよう十分注意して進めてまいります。

今回の対策の効果を踏まえ継続して監視を進めるとともに、川崎市の指導を仰ぎながら、更に土壌・地下水の改善に取り組んでまいります。

6. 対策場所と対策内容



以上